

## 經濟時評及商況

### ◎最近合同論議の眞面目となれるを歡ぶ

小 島 精 一

#### (一) 合同論の具體化——政府の白紙的態度を歡ぶ

久しく抽象的政策論の域を出でなかつた製鐵合同論も舊臘來急に發展して、遂に此の十二日には政府より調査委員の任命せられるに到つた。問題が個人的意見の討論より進んで具體的政策となつた事は甚だ歡ぶべき現象である。殊に最初傳承する處によれば此問題は行政及財政整理に關聯して官業拂下げをなす政府の方針を前提とするやうにも思はれたが、其後高橋農相の聲明によつて、決して然らざる事情が明白となつた事は當然とは言ひ乍ら快心な話である。即ち初め傳ふる處は八幡製鐵所の拂下げによつて官民合同組織を如何に實現すべきかと云ふ、極めて高飛車な、夫れ故具體的ながら甚だ早急な提案のやうであつたが、最近に闡明された處では農相の委員會に諮問する提案は「鐵工業の國策は如何に樹立すべきや」と言ふ全く白紙的のものである事が分つた。之は假令ほんの表面的の形式だけの話で實際は八幡製鐵所の拂下げを土臺とするものであると言ふ風な臆測も行はれぬではないが兎も角も政府が此の産業政策上の根本政策を議するに當つて白紙主義を標榜した丈けでも從來の迷論や臆測や宣傳を一掃する上に歡ぶべき進歩であると思ふ。

#### (二) 早急なる財政的合同論を排すべし、先づ周到なる科學的調査によりて合理的改造案を樹立すべし

凡そ製鐵業が大規模なる經營法を有利とするは私も屢々論述した通り、明白なる事理である。夫れ故本邦の如く比較的小規模なる跛行的工場が散在せる現状にては之を改造するに適當なる集中策を講ずるの急務なるは論を須ふる迄もない。之は實に將來の發展を眼目とせる改造論の見地から主唱せらるべきものである。換言すれば一方には戰時中濫造された不適當な會社を整理し一方には合理的な設備を適當な土地に建設又は擴張して、眞に理想的混合會社（原料を自給し、燃料節約法を完全に行ふ工場）を興し、之を單位として、各會社間の有機的關係を保持する協調組織を建設すべきものなのである。従て此の政策たるや決して一朝一夕にデツチ上げらるべきものではなくして、廣く各方面の學者及實際家を叫合して大に科學的に攻究されなければならぬ筈なのである。私は既に舊臘工業評論社の求めに應じて此主旨の卑見を稍や具體的に發表して置いたが（同誌十一月號參照）茲に特に其の論旨の一要點を重ねて力説すれば

製鐵業の集中策は單に行詰まれる現在の工場を財政的に合同して、投下資本の不合理なる救済を目的とすべからず。先づ徹底的改造の見地より理想的計畫を樹て、夫れに合致するやうに現在設

備を改廢すべし。

而して之がためには先づ周到なる科學的調査を行ふを要し斷じて早急なる財政的合圖をなすべからず。

と言ふにある。私の見る處にては從來の合圖論議は財政的組織の樹立に急にして、未だ識者を首肯せしむべき徹底的改造策を見出ださないのである。

私が前項に於て政府の提案が白紙的にて、其主旨は眞の國策を識者に匡すにあるを歡んだのは全く之がために外ならぬ。

### (三) 最近識者の論調の慎重となれるを歡ぶ

私は從來財政的合圖論のみ喧唱されて、其前提としての慎重なる調査又は周到なる改造案は嘗て發表されなかつたのを怪しんで來た。然るに舊臘來識者の論說中往々敬服すべきものを二、三見出だすを得たのは快心に堪へない。

#### (イ) 東京朝日新聞社説(十三年十月二十二日及十二月二十四日)

東京朝日新聞は十月二十二日「官業整理の問題」の題下に合圖問題を論じ「官業の拂下げは主義としては賛成なるも其時期及方法等は慎重に考究する必要がある」と言ひ「政黨内の利權屋や政商連の喰物となるやうな官業整理は輕々に賛同し能はぬ」と言ひ、又「ユー・エス會社の如き完備せる、大會社すら、可なり經營難の今日、劣等な會社を救濟するために無成算な合圖をなすも大合圖自身が立ち行くまい」云々と論じて居る。

同社は又十二月二十四日の社説に「國策としての鐵問題」を論じ「鐵鋼調査會の新設は從來の舊き政策の缺陷を尋ね、弱點を見出だすべき好機會である。當局の態度の白紙なるは甚だ結構、只だ危險なる處は、來つて之に参加せんとする學識經驗者流の偏見が塗抹したる手習草紙の如くならん事である」と諷し、進んで、政府の態度が表面的に白紙だと號し乍ら、實は官民合圖の運動を前提するが如き口吻を洩らすを難じて居る。即ち實際利用出來ざる鑛石の資源を、恰も極めて豊富なるが如く宣傳し、之を基礎として假空なる自給策を樹てやがて補助金及び關稅の引上げをなして、一部當業者を利せんとするを虞れて居る。最後に此重大なる問題の討究解決に際しては更に白紙的趣旨に徹底せん事を望んで居る。

#### (ロ) 東京日々新聞社説(十二月十九日)

東京日々新聞も「製鐵合圖と關稅増徴」の題下に此問題を論じ「合圖策は大體賛成なるも、之には先決問題として關稅引上げの可否がある。而して此關稅引上げは鐵價を釣上げ、其上に立つ諸産業を毀ふ虞れがあるから賛成出來ない。之によつて假令鐵の輸入を減小せしめ得たとするも、一方に國民生活を不利に導き、一般産業の輸出力を減じるやうな事は出來ない。或は保護の效果に關する例證を外國に求める者もあるが、之は事情の異なる我國には當てはまらぬ、要するに是等の論は製鐵資本の救濟以外多くの意義がないやうである」云々と斷じて居る。

(ハ) 三菱製鐵會社取締役河村驍氏の合同尙早論 (十二月二十三日讀賣新聞)

現に鐵鋼協會の會長をせられる河村驍氏の談話として次の主旨が發表されて居るのは、大に私共後學の意を強ふする處である。

「私は此合同に對し實際賛成もし、研究もしてゐますが、もつともつと研究をせねばならず、政府でも委員を擧げ、充分研究機關を設け討議した後ち實行すべきでありませう。……八幡製鐵所を中心として官民合同の新會社を設立するが如きは一面には政黨の食物となり、他面には事業の促進を阻害する所もあらはれ、之に依る缺陷も免れまいと思ひますから、近き將來には總合同實現も不可能でせう。私は眞の合同論者であるが故に、實際の立場から論じて時期尙早と申しませうか」云々。

(ニ) 八幡製鐵所前長官白仁武氏談 (十四年一月十二日東京日々新聞)

白仁氏も官民大合同には寧ろ反對のやうである。

「…最近一時問題となつた官民合同も各會社内容を異にしてゐるので反對も大分あるやうだ。又散在せる工場を一丸とした處で生産費引下げ或は製鐵業の發展に資するは多く望めない。之は少しく事情に通ずる者には見易い道理である。夫れより實現の可能性あり且つ賢明な策は各地方の製鐵業の部分的合同によつて鐵鋼業の縱斷的結合をはかる事である」云々。

(四) 結 言

要するに製鐵業の合同其者の可否は問題ではない。官民大合同は固より主旨として幾多の利益を生むには違ひあるまい。原料の大量購入、運搬設備の自營、注文の配分、等は特に重要な長所であらう。然し借問す是等の利益は必ずしも此大合同によらざれば得られざるものであるか。又此方法によつて得るを最も有利とするか。又斯る合同を實現せる曉、改廢すべき事項は單に是等の諸點に止まつて居るか、若し進んで工場設備の合理的改造をなすべくば其具體的方策如何。私は茲に調査會の新設に當つて特に卑見を述べて周到なる科學的調査を實行され大に論究せられん事を切望するものである。

(大正十四年一月十二日稿)

◎ 内地鐵鋼市況

鐵價漸騰氣配 鐵市場は最近に至り市價上乘氣配濃厚となり随つて八幡製鐵所に於ける民間注文漸増し同所一月渡先物も豫定通りの成約を見たと云はれてゐる、勿論目下の所越年勿々の事で市場荷動は少いが早くも一部では商談が行はれてゐる筋もあり、本月中旬以降ともならば相當に取引増加すべく而も底高商勢を帯びてゐるが、之を鐵商側の觀測に依れば舊年は稍々市場不況を呈したが一般に買手控への結果、品に依つては問屋筋は賣切を爲し製鐵所に於ける商談も十一月下旬から増し始め十二月中には相當の成約を見、更に市價は上押一方を辿る模様であるが、之は對外其他強氣材料の多い昨今當然の事で、加へて鐵關稅も愈々引上となるらしく春の市場は必然旺盛を呈するだらうと觀測されてゐる。

◎相場表

(特記せるものゝ外は)
(總て一月十五日調)

銑鐵 東京 水橋商店
(一噸に付)

Table listing various iron products and their prices, including items like 釜石再製銑, 釜石純白銑, 釜石白銑, etc.

鋼アングル

(十貫目に付)

一分厚

Table listing steel angles with dimensions and prices, such as 一寸二, 一寸四, etc.

Table listing iron products like 三時半, 四分厚, 三時, etc., with prices.

丸鐵 東京 森岡商店

スイツル 十貫目に付

Table listing iron products like 一分五厘, 二分, etc., with prices.

角鐵 (同)

スイツル 十貫目に付

Table listing iron products like 二分五厘, 三分, etc., with prices.

平鐵 (同)

Large table listing various iron products with dimensions and prices, including sections for 一分厚, 二分厚, 三分厚, 四分厚, 五分厚.

Table listing iron products like 六分厚, 鐵板(三六物)(同), 鋼板(三六物)(同), 丸釘, etc., with prices.

12寸	六寸	10.7
12二	寸	11.5
11二	寸	11.7
10二	四	10.7
9二	八	10.7
8三	二	10.0
7四	寸	10.8
6五	寸	10.8

鐵線 東京 野崎商店

一	番	8.5
二	番	8.5
三	番	8.5
四	番	8.5
五	番	8.5
六	番	7.0
七	番	7.0
八	番	7.2
九	番	7.2
十	番	7.5
十一	番	7.5
十二	番	7.5
十三	番	7.5
十四	番	8.0
十五	番	8.5
十六	番	9.0
十七	番	9.5
十八	番	10.5
十九	番	11.0
廿	番	11.5
廿一	番	12.5
廿二	番	13.0
廿三	番	14.0
廿四	番	15.0
廿五	番	16.0

亞鉛引線 (同)

八	番	8.0
九	番	8.0
十	番	9.0
十一	番	8.5
十二	番	9.0
十三	番	9.0
十四	番	9.0
十五	番	9.5
十六	番	10.0
十七	番	10.0
十八	番	11.0
十九	番	11.0
二十	番	11.0
二十一	番	12.2
二十二	番	13.5

二十三番 14.0

亞鉛引平板

東京 加藤商店	
三六物一枚に付	
赤鳩印	1.50
フサ印	1.40
ツバメ印	1.40

同厚物

十貫目に付	
十六番	13.5
十八番	13.5
二十番	13.5
二十二番	13.5
二十八番 一枚	1.5

亞鉛引生子板(同)

一枚に付	
圓	
六尺	1.15
赤鳩印六尺	1.17
七尺	1.43
八尺	1.60

同厚物

十貫目に付	
二十四番	11.0
二十六番	11.0
二十八番 一枚	1.3

鋳力板(同)

英國 一箱に付	
圓	
二枚掛百磅	
百十二枚入	18.0
同百六十磅	
二百廿四枚入	32.0
四枚掛二百廿四磅	
六十枚入	37.0
七十枚入	39.0
八十枚入	42.0
百枚入	43.0

軌條

東京 小泉商店調	
附屬品付 一哩に付	
新品 圓	
九封度	2,100
十二封度	2,400
十六封度	3,400
十八封度	3,800
二十封度	4,300
廿五封度	5,300
三十封度	6,100
五十封度	10,000
六十封度	12,000

洋鋼 東京 河合鋼商店

十貫目に付

双物及バイト用	
東郷鋼レイレイ號丸角 圓	
四分ヨリ一寸六分迄	300
東郷レイ號丸角	
四分ヨリ四寸迄	190
東郷貳號丸角	
四分ヨリ二寸迄	65
白紙蟲印丸角八角	
平角普丸吋	48
サビナイ東郷鋼	180
黃紙秤印丸道具	
用四分ヨリ二寸	18.5
青紙鳳印丸角平	20
鑛山用	
青紙鑛山八角	12.5
青紙兜八角	23
青紙鳳八角	20

鋸用東郷黃紙平一分

時價	
タル印平鋼	時價
鍵印箱入鋼	42
燈臺印箱入鋼十貫入	55

亞鉛

東京 前田商店調	
百斤に付	
AZ	34.5
TD	34.5
MMC	34.0

古鐵古銑 中值

東京 競賣會社調	
十貫目に付	
圓	
上道具銑	1.6
車輪銑	1.0
中銑	1.2
鍋釜屑	1.0
白銑、ロストル	0.8
最上鑛山	1.1
上鑛山	1.0
並鑛山	0.8
新斷切層上	0.4
同並	0.3
鐵千地	0.3
鐵グライ紛	0.5
鐵グライ粉	0.5
ブリキ千地	0.2

引拔鋼管

日本鋼管株式會社

瓦斯管 一呎に付	
錢	
內	
一時四分一	26
一時二分一	34
二吋	43
三吋二分一	70
三吋	80
三吋二分一	95
四吋	1.15
五吋	1.45
六吋	1.90

冷率製汽罐用管

內徑厚一呎に付	
錢	
一時四分三×二五耗	45
二吋×同	50
三吋×一番ゲージ	85
三吋四分一×一〇番	1.04
三吋二分一×同	1.10
熱率製汽罐用	
三吋×九番ゲージ	72
三吋四分一×同	78
三吋二分一×八番ゲージ	93
四吋×同	1.07
ステイ管	
三吋×四分一時	1.17
同×十六分五吋	1.43
三吋二分一×四分一時	1.37
同×十六分五吋	1.70
四吋×四分一時	1.60
同×十六分五吋	1.95

石炭

三井鑛山會社報

一噸に付	
豐前一等塊炭 若松着 圓	
13.50	
同粉炭 同	10.00
筑前一等塊炭 同	12.50
同粉炭 同	8.75
筑前二等塊炭 同	12.00
同粉炭 同	7.50
夕張級塊炭 室蘭汽船乘	
14.00	
同粉炭 同	11.50
三池水洗骸炭 巴拉三池	
汽船乘	20.00